



会長 菅原文之  
 幹事 佐々木源悦  
 会報 佐々木崇光 佐藤静市  
 高橋利光 渡辺光悦

例会場 サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 サンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2317回例会 2011. 8. 30 No. 8

<ガバナー公式訪問合同例会  
 於：築館・ホテルグランドプラザ浦島>

### 本日の出席率

- ・本日の出席率 75%
- ・前回確定出席率 100%

### 合同例会タイムスケジュール

- 12:30 開会点鐘、ロータリーソング、四つのテスト
- 12:35 ゲスト・ビジター紹介
- 12:40 食事
- 13:00 各クラブ会長報告
- 13:15 各クラブ幹事報告
- 13:20 菅原一博ガバナー挨拶
- 13:30 閉会点鐘

### 会長要件 菅原文之会長

先週の当クラブ例会は会員増強委員会のフォーラムでした。氏家良典委員長が担当しました。8月は会員増強月間となっており、色々と考えさせられる課題がありました。当2520地区では40名近い会員減と、2クラブ減が現況であります。「日本の会員減少率が世界でも一番ということに関して心を痛めている。クラブ運営に関しての抜本的な改革が必要ではないだろうか？ロータリー理念に共感しても、現実には毎週決まった日時に出席し会員の多い場合は、親睦もままならず、無駄な時間を過ごすことが多いと感じるものにとっては退会を選択するであろう。多くは高齢化し暇つぶしでもいう例会に出席しているのではなかろうか？高い年会費を払って会員であり続けるのは、この不景気がつづく日本では一握りではなかろうか？そこには、活力も湧いてこなく、参加意識も希薄となっている。魅力あるロータリー、クラブづくりが必要である。」これは、R I会長の会員増強についてのメッセージの中で言っていることです。

当佐沼クラブの会員数は現在52名です。年度末に

3名退会し49名のスタートでしたが、会員増強委員会が頑張り3名増強していただきました。退会者がいないようクラブ内で各委員会が連携して運営していく努力をいたしたいと思っています。

今日の河北新報に、佐沼クラブが気仙沼高等学校に定時制生徒の給食用お米支援の写真が載っていましたが、これは私共のところに、県の対策本部より給食用のお米の支援を受けていたが、7月一杯で打ち切られる、親も生徒も地震津波で職を失い給食用の米もままならないということの手紙を気仙沼高等学校の教頭先生からいただき、今年度、当クラブで作りました復興支援特別委員会で検討し、510kgの米を調達し8月25日に贈呈式を致しました。これが、今年度に入って行った社会奉仕です。



8月25日 気仙沼高等学校にて支援米贈呈式

### 幹事報告 佐々木源悦幹事

- ・ガバナー事務所より
- 国際ロータリー取り扱い口座名義変更の連絡
- 9月1日より
- 銀行 三井住友 新宿通支店
- 口座番号 (普) 6733244
- 名義 国際ロータリー日本事務局
- 事務局長 加倉井隆男

- ・台北西門RCより 会報、名簿が届く
- ・R Iより、Official Directoryが届く
- ・「ザ・ロータリアン」誌が届く

### ◎菅原一博ガバナーの挨拶及び講評(要旨)

皆さん、こんにちは。仙台RCから推薦されガバナーを務めることになりました菅原です。よろしくお願い致します。今回の東日本大震災に際しまして、ご家族やご親戚、お勤めの方々が被災され、改めてお悔やみとお見舞いを申し上げます。

先程、4クラブ合同の会長・幹事会を開催させていただきました。時間がないところですので簡単にお話いたします。

佐沼RCは47年目を迎え、会員数52名という宮城県では中堅の素晴らしい伝統あるクラブではないかと思えます。今回の津波被害に関しましては、佐沼さんが最前線に立って支援されておられるとのこと。引き続きご支援の程お願い申し上げます。

栗原RCは、入会1年目、33歳という大変若い幹事さん、平均年齢51歳というクラブでございます。頑張ってくださいと思います。

築館RCは、チャリティーでダンスパーティ等を開催するといったモダンでユニークなクラブであります。国際交流や青少年の育成をメインに活動をされています。

若柳RCは、若い会長さんで、チャーターメンバーが多く、伊豆沼クリーンキャンペーン、インターアクトポリオ撲滅に力を入れて活動をされています。

R I会長の方針、第2520地区の基本的な方針を皆様にご覧いただけます。

「こころの中をみつめよう、博愛を広げるために」とカルヤン・バネルジーR I会長はテーマを掲げました。カルヤン・バネルジーR I会長は、インドで3人目の会長です。会長は、第1の強調事項に家族をあげています。家族が大事である。家族がロータリーの原点である。家族があつてこそロータリーがある。家族に声掛けを是非していただきたいと思えます。第2番の強調事項は、継続ということ。続ける、続けられることによって地域あるいは社会に大きな影響力がある。「継続は力なり」という言葉があります。活動、奉仕を続けることによって社会が変わること。3番目に、変化です。変化に対して自分自身の中に変化を、自分自身が変わって下さい。そうすることによって、社会あるいは地域が変わること。一番大きな問題は、識字率という問題です。識字率の向上にロータリーはずっと取り組んできております。

ロータリーは何かと言う時、色々ありますが、しかし、1つ言えることは、ロータリーは世界で最大の奉仕団体である。120万人の大変素晴らしいロータリアンがいるということ。皆さんの付けているバッジが間違いなく地域を回っているということ、それを是非誇りに思ってください。

地区の方針としては、クラブの存続を第1に考えます。クラブの維持・存続を図ります。そして、職業を通して地域に貢献する。皆様には、ロータリー財団の理解を深め、ご協力をお願い申し上げます。



菅原文之佐沼RC会長



壇上の4クラブ会長・幹事



菅原一博ガバナー(講評)



佐沼RC、ガバナーを囲んで